

Forcepoint Dynamic Data Protection

Forcepoint Dynamic Data Protectionを使用して、ユーザーとデータのセキュリティにおける次のレベルに備えます。発見までの時間、全体的なフォレンジック調査、および誤検知による警告の警告を大幅に短縮し、最適なビジネス効率を維持しながらリスクに迅速に対応できるようにします。

デジタルトランスフォーメーション、クラウド、およびモビリティが、情報技術を転換点に、セキュリティアーキテクチャをプレーキングポイントに追いやっています。その結果、組織はモバイルワーカーに権限を与え、当面のタスクに適したアプリケーションを維持し、データが環境内を流れるときに適切な保護を提供するのに苦労しています。データ保護に対する従来のアプローチは厳格である傾向があり、施行を許可またはブロックのみに制限しています。これは施術者が警報や警報に溺れることにつながります。その結果、セキュリティ組織は、最大のリスクをもたらすセキュリティコンテンツを識別して優先順位付けし、システムポリシーを調整し、リスクを修正するのに苦労しています。

現在では、重要なデータがどこに存在していても、アクセスされていても、重要なデータを保護するためのよりスマートな方法があります。行動中心の分析とデータ保護ツールを統合することで、Forcepoint Dynamic Data Protectionはリスクの高い活動を優先し、ポリシーを自動化してほぼリアルタイムでデータを保護でき、最高のセキュリティと最高のエンドユーザー生産性を提供できます。

分析主導のリスク適応型セキュリティ

適応型セキュリティを提供する最前線で、行動中心の分析は従来のセキュリティシステムと従来のデータソースではないところからデータを取り込みます。それから組織内のエンドユーザーを中心としたより豊富なコンテキストのピックアップとしてそれらを組み合わせます。データ損失防止 (DLP) からのデータを他の組織ソース (例えば、人事、旅行記録、電子メール、チャットコミュニケーション) のデータと融合することで、行動に関するより情報に基づいたコンテキストのピックアップにより素早く異常を識別することができます。

このコンテキストを使用して、アナリティクスは、リスクレベルの変化に基づいてポリシーを自動的に適応させるように強制ツールセットに指示し、組織のリスクに応じたセキュリティを提供します。リスク適応型セキュリティは自動的にリスクに対応し、ポリシーを個々のユーザーレベルに適応させて、オンプレミス、エンドポイント、およびクラウド内のデータとアクセスを制御します。

リスク適応型保護の利点

- ▶ アラートと誤検知の量を減らすため優先順位付けが必要
- ▶ きめ細かい適用による柔軟性の向上、個々のユーザーのリスクレベルに基づく管理
- ▶ 個別の一对一のポリシー施行
- ▶ 予防的で動的な自動化された施行による生産性の向上

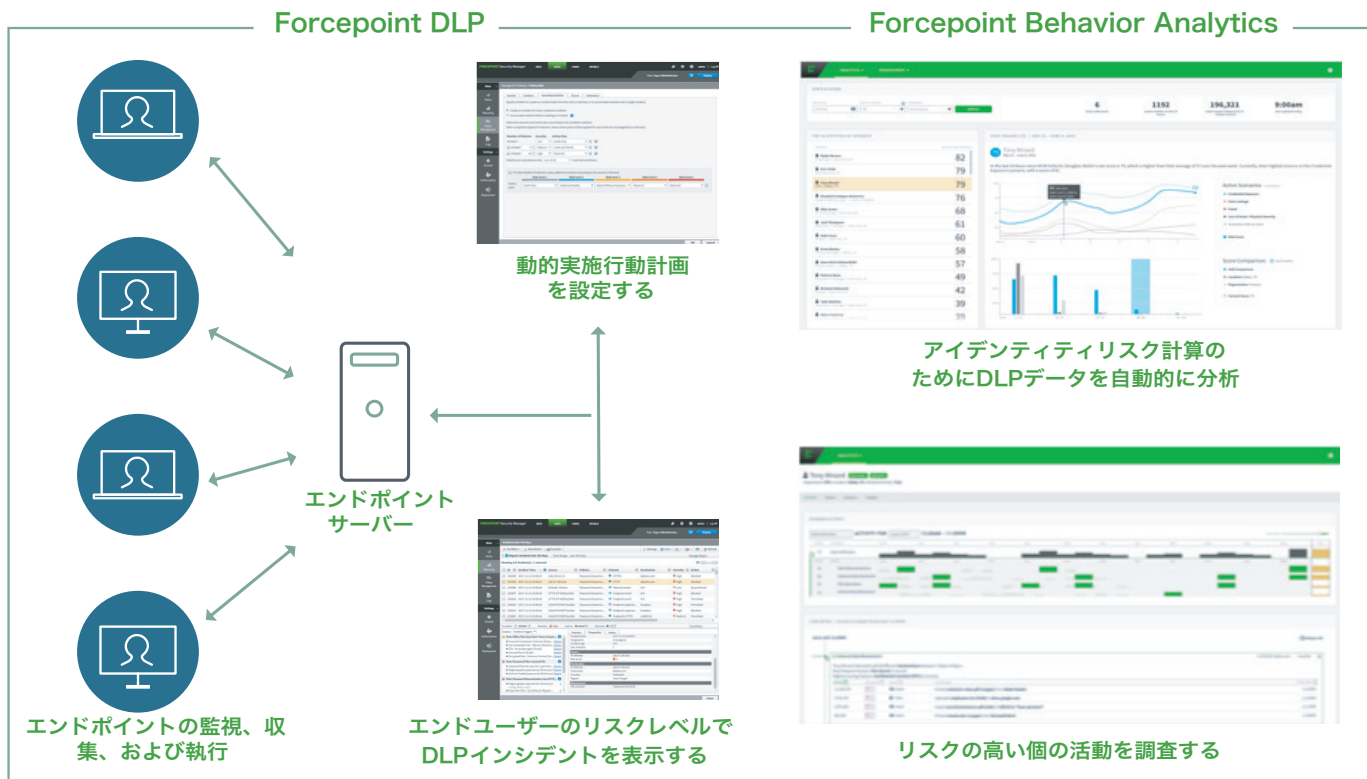
Dynamic Data Protection

動的データ保護は、重要なデータや資産に潜在的なリスクをもたらすエンティティを特定し調査するためのソリューションを提供します。ユーザーのリスクレベルおよびアクセスされているデータの価値に基づいて資産を保護するために、監視および実施の管理を動的に適用します。

DLPと行動分析が組み合わせて、自動化されたポリシー施行を可能にします:

- ▶ DLPインシデント、データモデル、およびエンドポイントコネクタイベントに基づいて、リスクの高いユーザーアクティビティをプロファイリングします
- ▶ ユーザーのアクティビティとアクセスするデータの価値に基づいて、リスクスコアをエンティティに動的に割り当てます
- ▶ 現在のリスクレベルに基づいて、ユーザーインタラクションと機密データに自動制御を適用します
- ▶ 危険度の高いユーザーアクティビティの詳細な調査をサポート

Forcepoint Dynamic Data Protection: どのように動作するか



人間の介入の必要性を排除するために適応的な執行で洞察を得ます

Forcepoint Dynamic Data Protectionを使用することで、組織は従来のDLP展開などの基本的な課題を解決できます。規制されたデータソースやPLLを含む機密情報を効果的に保護します。これはその種の市場で最初で唯一の解決策です。組織内のリスクの変化に動的に対応するためにポリシーの適用を自動化できる唯一のものです。インテリジェント分析では、統一されたポリシー管理、およびその中心となる自動化、Forcepointのみが、必要なエンドツーエンドの動作中心のセキュリティアーキテクチャを提供できます。今日と明日のセキュリティ上の課題のために。

お問合せ先

Forcepoint Japan株式会社

〒105-0003 東京都港区西新橋1-2-9 日比谷セントラルビル14階

Tel: 03-5532-5602

Email: Japan@forcepoint.com

Web: www.forcepointcom/ja